

三重県健康管理事業センター広報誌

健康みえ

創刊号

夏



いなべ市 藤原岳

CONTENTS

- 「健康みえ」創刊のごあいさつ 2
- 巡回検診を支える検診車が行く！ 3
- 三重県健康管理事業センターのご紹介 4
- 健康便り～熱中症にご注意～ 6



公益財団法人
三重県健康管理事業センター



理事長
水谷 仁

広報誌「健康みえ」創刊のごあいさつ

公益財団法人三重県健康管理事業センターの運営につきましては平素から格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当センターは、平成9年4月に結核予防会三重県支部、三重県対ガン協会、三重県予防医学協会を統合して設立されました。

その後、平成21年5月には健診センター「サンテ」を開設し、平成24年4月からは公益財団法人として結核、がんの早期発見及び生活習慣病の予防に関連する事業を行っています。

当センターでは、胸部X線検査やマンモグラフィ検査のための撮影機器を搭載した検診車で、県内の各市町や職場、学校などに出向き集団健診を実施しています。また、健診センター「サンテ」では、人間ドックや生活習慣病予防健診などを実施しています。

このたび、当センターの取り組みをお伝えするための広報誌「健康みえ」を発刊する運びとなりました。今後、誌面の充実に努めていきたいと考えていますので、ご意見・ご感想をお寄せいただきますようお願いいたします。

これからも健（検）診・検査を通じて健康づくりをサポートし、より豊かな社会づくりを目指してまいりますので、どうか一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、創刊のごあいさつとさせていただきます。

■ 三重県健康管理事業センターの沿革

昭和15年 2月	(財)結核予防会三重県支部設立
昭和35年 2月	(社)三重県寄生虫予防協会設立
昭和35年 3月	(財)三重県対ガン協会設立
昭和45年11月	(社)三重県寄生虫予防協会を(社)三重県予防医学協会に改組
平成 9年 4月	(財)結核予防会三重県支部、(財)三重県対ガン協会、(社)三重県予防医学協会が統合し(財)三重県健康管理事業センターを設立 (財)日本対ガン協会、(財)予防医学事業中央会、(財)日本寄生虫予防会、(財)結核予防会のそれぞれの三重県支部を兼ねる。 新たに衛生検査所登録、診療所開設許可
平成15年 4月	日本対ガン協会三重県支部から日本対がん協会三重県支部に名称変更
平成21年 5月	新築移転、健診センター「サンテ」開設
平成24年 4月	公益財団法人に移行

巡回検診を支える検診車が行く!



早朝から街中を走っている検診車を見たことはありませんか?当センターでは、県民の皆さんの健康を守るため、16台の検診車を県内各市町へ走らせて検診を実施しています。

超音波検診車



三重県初の超音波検診車導入!

平成30年5月に乳がん超音波検査・腹部超音波検査・心電図の検査が可能な超音波検診車を導入しました。車内には3人同時に検査が可能なスペースを設置しています。



胃がんX線検診車



胃がんX線検診車は「きぼう号」と名づけられ、現在4台が稼動しています。

胸部X線検診車

6台保有しています。そのうち2台は、リフトが付いたバリアフリー検診車となっています。受診者の方の、結核・肺がんを検査しています。



各車にマンモ機器を2台ずつ搭載しています。花柄をあしらった「第1みらい号」「第2みらい号」が走っています。平成29年9月に新型車両(デジタル仕様)に更新しました。



マンモグラフィ検診車



子宮がん検診車



「第1ゆめ号」と「しろはと号」の2台が稼動しており、細胞の異常を発見する検査をしています。



三重県健康管理事業 センターのご紹介

健(検)診・検査事業

健やかでいきいきとした生活を目指して、県民の健康づくりのお手伝い

- 地域保健……地域住民の病気の早期発見のための検診車による健(検)診・検査
- 学校保健……幼児から大学生までの健(検)診・検査
- 職域保健……働く県民の職場における健(検)診・検査
- 福祉施設などの健診……福祉施設・老人施設における健(検)診・検査
- 検体検査……感染症や食中毒を未然に防止するための検査
- 保健指導……メタボリックシンドローム予防のため個別に食事指導・運動指導

教育広報事業

- 広報事業
 - ・がん征圧月間及び結核予防週間に、がんや結核の普及啓発活動に取り組む
 - ・結核予防のための複十字シール運動に参加し、結核予防や募金活動を行う
- 学術助成
 - ・がんに関する研究者及びがん患者支援活動を行う個人・団体に対して助成
- 県がん相談支援センターの運営
 - ・県内のがん患者・家族を対象に相談支援や情報提供、交流の場を提供



- 胃がん検診
 - ・日本消化器がん検診学会認定の胃がん検診専門技師 9 名を配置
 - ・日本消化器がん検診学会認定の認定医が全て読影
- 乳がん検診
 - ・日本乳がん検診精度管理中央機構認定の検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師 10 名を配置
 - ・日本乳がん検診精度管理中央機構認定の乳がん検診超音波検査実施技師 9 名を配置
 - ・日本乳がん検診精度管理中央機構認定の検診マンモグラフィ読影医師が全て読影
- 腹部及び甲状腺の超音波検査
 - ・日本超音波医学会「認定超音波検査士」5 名を配置
- 肺がん検診
 - ・日本呼吸器学会「呼吸器専門医」などが全て読影
- がん検診専門委員会の設置
 - ・各種がんの検診の成績の評価をするため、専門医師で構成する 6 委員会を設置

健康便り

熱中症にご注意

日差しが強く感じる季節になってきました。昨年、全国で熱中症による救急搬送者は52,984人で、そのうち三重県内は866人でした。熱中症は、正しい知識と予防策を行っていけば防ぐことができます。今回は、熱中症について知っていただき、予防・対策をしていただければと思います。

1 熱中症とは…

● 熱中症って何？

私たちのからだは、常に36～37℃に保たれるよう調節する働きがあります。

しかし、高温多湿な環境下で運動や労働を行うと、この体温調節機能がうまく働かなくなります。

この状態が続くと体内の熱は蓄積され、熱中症を引き起こします。

● どんな症状が出るの？

次のような症状は熱中症にかかっている可能性があります。熱中症には重症度によりⅠ度からⅢ度がありますが、以下の症状があればすぐに対応が必要です。



2 職場における熱中症の特徴

熱中症が生じやすい条件は、環境、作業、人に分けて考えることができます。

● 熱中症が起こりやすい場所の特徴 (環境)

例えば…

倉庫の中、屋外、機械やOA機器などからの熱が発する場所、エアコンを使用していない部屋…など



3 職場における熱中症対策

● 作業について

○ 作業時間を考慮しましょう

作業休止時間や休憩時間を確保し、高温多湿の作業場所での作業を連続して行う時間を短縮する。

○ 身体が暑さに慣れるまでの期間を設けましょう

暑さになれるまで通常7日間かかるといわれています。暑さに慣れるまでは、作業時間を徐々に延ばすようにし、無理をしない。

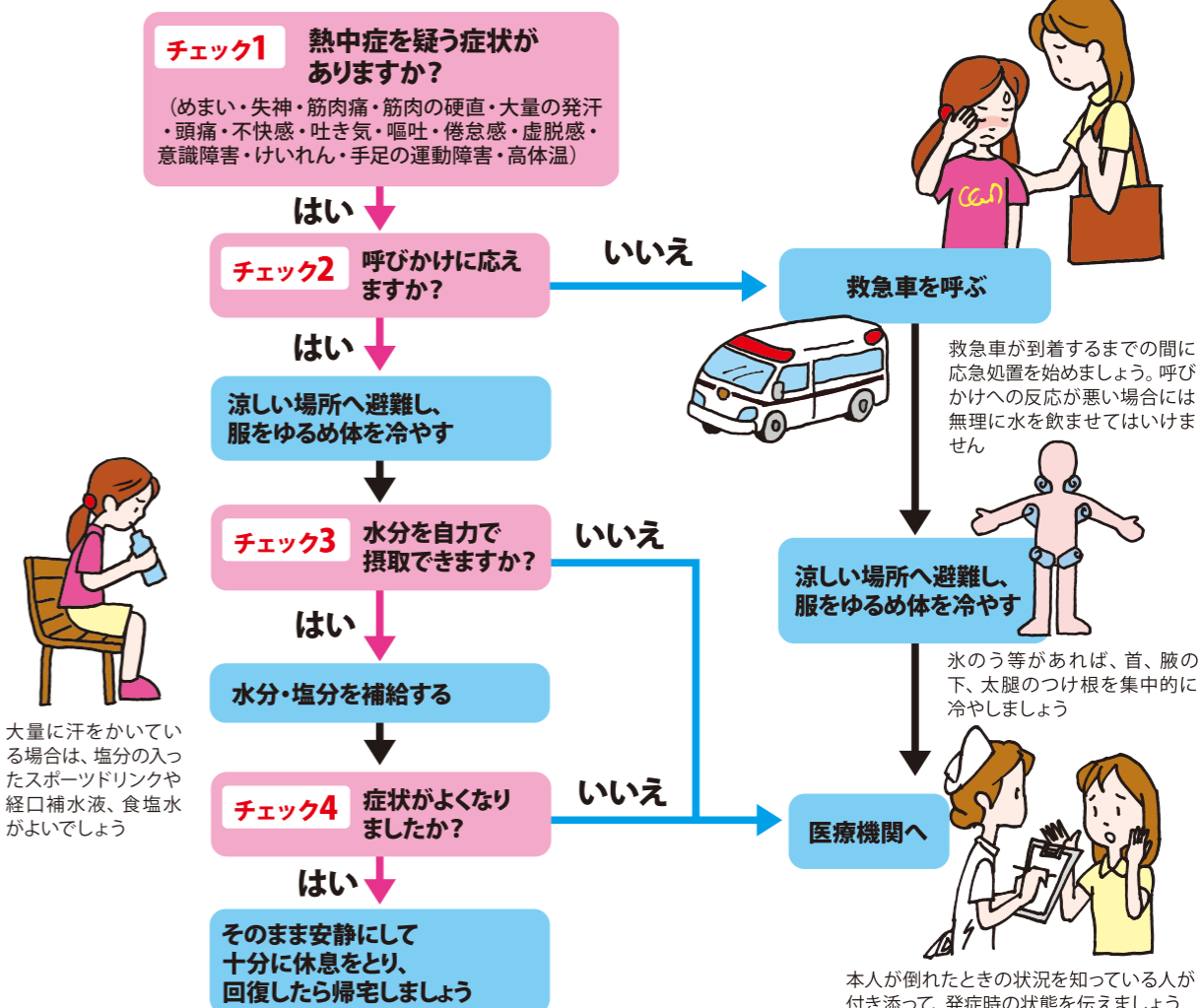
○ 定期的に水分と塩分を摂りましょう



熱中症を疑ったら
早目の対応を!!

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。落ち着いて、状況を確認して対処しましょう。最初の措置が肝心です。



熱中症を疑ったときには何をすべきか

「環境省熱中症環境保健マニュアル(2018年)」 http://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_manual.php より

Information & Topics

- 県内初の超音波検診車を導入しました。乳エコー、心電図、腹部超音波検査ができます。
- 6月27日より津市住民健診の予約電話を受け付けしています。
※詳細はホームページまたは津市の広報をご覧ください。
- 今年度から、血液オプション検査にリスク検査のロックスインデックスとMCIスクリーニングを追加しました。
※ロックスインデックスとは、将来の脳梗塞・心筋梗塞のリスクを評価する検査
※MCIスクリーニングとは、認知症の前段階であるMCI（軽度認知障害）を評価する検査

■ がん征圧月間が始まります (9月1日~9月30日)

2018年度がん征圧スローガン

がん検診 未来の自分にできること

9月はがん征圧月間です。がんに対する正しい知識の普及とがん検診受診率の向上を目指して普及啓発活動に取り組みます。



'18年度 がん征圧月間ポスター

■ 複十字シール運動 (8月1日~12月31日)

ご存知ですか？ 複十字シール運動

複十字シール運動は、結核を中心とした胸の病気をなくして、健康で明るい社会をつくるための運動です。その実現のために募金活動を行うとともに、病気への理解を広め予防の大切さを伝えています。

結核予防週間：9月24日から30日



シールぼうや



公益財団法人 三重県健康管理事業センター 健診センター「サンテ」

日本対がん協会三重県支部・結核予防会三重県支部
予防医学事業中央会三重県支部

〒514-0062 津市観音寺町字東浦446番地の30
TEL：059-228-4502(代表)
FAX：059-223-1611
mail：info@kenkomie.or.jp
URL：http://www.kenkomie.or.jp/

